

福島県言語聴覚士会一般社団法人設立 記念式典・祝賀会を開催して

一般社団法人 福島県言語聴覚士会 副会長 山田 奈保子

平成27年4月1日、私たち福島県言語聴覚士会は一般社団法人へ移行し、11月15日、県郡山市にあるホテルハマツにおいて法人設立の記念式典・祝賀会を開催する運びとなりました。当日は県内外のご来賓の方々、当会会員、計166名という多くの方々にご参加いただきました。

式典と祝賀会の模様

式典では阿久津由紀子会長、郡山市長をはじめご来賓の方々のご挨拶に続き、日本言語聴覚士会深浦順一会長の記念講演「言語聴覚士の歩みとこれから」となりました。そして、ここでサプライズが……。式典祝辞後、ご退出予定だった郡山市長が退出直前、「ちょっと時間があるから、聞いていても良いかな？」と深浦会長のご講演を聴講されることになったのです。「ちょっと」というより「しばらく」はおられ、頷きながら聴講されていたのが印象的でした。そんなうれしいサプライズによりスタートした式典後、祝賀会へと引き続きました。



会長挨拶

祝賀会においては、県理学療法士会会長、作業療法士会会長をはじめ、医師会、歯科医師会、看護協会、また近隣県士会会長などのご祝辞をいただき、和やかな雰囲気です宴が始まりました。その後、県のキャラクターたちがお祝いに駆け付け、県内障害者支援施設「アガッセ」の入所者さん手作りの起き上がり小法師のストラップをプレゼントしてくれました。会場はかなり盛り上がり、キャラクターと記念撮影をされたり、かわいらしい起き上がり小法師に目を細めておられたり、穏やかな雰囲気となりました。その後、会員から写真を募り理事が力作した「当会の歩み」というDVDを放映、感動的な雰囲気が漂い、会はお開きとなりました。



(上) キャラ集合
(右) 起き上がり小法師



念願を果たして

当会は東日本大震災以降、法人化を大きな目標として活動をしてまいりました。震災直後に協会学会を開催する予定でしたが、会場が半壊、無念の開催中止となりました。その際の懇親会会場がこのホテルハマツでした。前々県士会会長から準備を始めたこの事業の集大成をこの場所で開催できたことに、感慨深い思いを抱き終えることとなりました。

今回の事業において会の歩みを振り返り、法人設立を祝うと同時に、今後一人前の組織として地域の皆様のご期待やご支援に応えるべく、会員一同が力を合わせてより一層努力していく決意をあらためて共有する場となりました。

この会の企画に際し、先に法人化され、記念式典・祝賀会の情報を快くご提供いただきました山梨県言語聴覚士会会長内山量史先生に、この場を借りて御礼申し上げます。



記念式典玄関前看板